

# 小田家

## ～潜って手渡すみんなの場所～

1150057 小田和代

高知工科大学 システム工学群

建築・都市デザイン専攻

### 1.はじめに

「小田家」は約 40 年間ここに住む地域の人達とともに暮らしてきた。「小田家」は一般の住宅であるが、その家の歴史は家族の成長とともに変化し、少しずつ形を変えている。

そんな小田家の歴史を調べ、小田家の特徴を知り、家族の意見を取り入れた、新たな小田家を制作していきたいと考えた。

### 2.対象敷地と敷地周辺

小田家の敷地は高知県高岡郡の越知町というところにあり、小田家は越知市役所から約東へ 1 km 離れた場所にある。

敷地周辺は南側が大きな山に囲まれており、北側には小舟団地がある。団地には多くの家族が住んでおり、朝には仕事に出かける人や学校に向かう子供たちが見受けられ、昼間には公園で遊ぶ子供たちの声が響く、比較的賑やかな場所である。家の前の県道はきれいに整備された道があり、大型トラックなどが連日通っている。



図 1.対象敷地範囲



図 2.団地写真

### 3. 小田家概要

現在の小田家は敷地面積が約 500 m<sup>2</sup>、1 階は鉄骨造、2 階は木造であり、延床面積は約 160 m<sup>2</sup>となっている。

### 4.小田家の特徴と歴史年表

#### 4-1.他者中心の小田家

小田家が出来た当初、もともと購入した土地に住んでいたおじいさんに土地を無償で貸し、おじいさんがお亡くなりになるまで時々看病を行っていた。

#### 4-2.地域住民に愛される小田家

小田家では昔、店を経営しており、現在では貸し車庫や、自販機を行っている。

車庫では車を停めるなどの他に、物作りの工房として利用している人もおり、その人に階段などの制作を頼むこともある。また、小田家の自動販売機は利用してくれる方々のためにと通常より安く販売しており、多くの地域の方々に利用してもらい、越知町内で売り上げNo.1 を誇っている。

#### 4-3.変化し続ける小田家

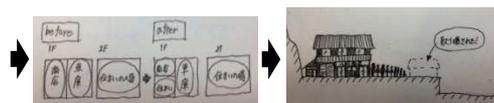
小田家は、周辺環境や、家族の誕生などの影響を受け、敷地の拡大や改築などを行い、常に変化し続けている。



1)土地の購入

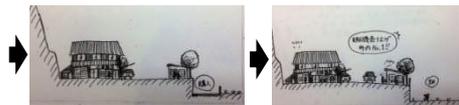
2)他者との共存と

小田商店



3)県道の購入と車庫

4)共存生活終了



5) 県道購入と車庫

6) 賃貸車庫と

自動販売機

## 5. これからの小田家

### 5-1. 小田家の設計コンセプト

小田家のこれまでの歴史を知り、その特徴を引き続き小田家に取り入れる。

また、家族の要望を聞きだし、これからの家族が住みやすい家を提案する。

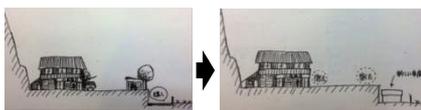
#### ■これまでの特徴を引き継ぐ

- ・ 他者中心の小田家
- ・ 地域に愛される小田家
- ・ 変化し続ける小田家

#### ■家族の要望を取り入れる

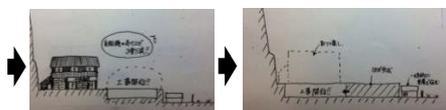
- ・ オシャレな小田家
- ・ 小田商店の復活
- ・ 人が集まる小田家
- ・ 年寄りに優しい小田家

## 6. 設計計画プロセス



1) 土地の購入

2) 車庫の撤去と新たな  
車庫入荷



3) 建物西側の地下工事

4) 小田家取り壊しと  
地下工事



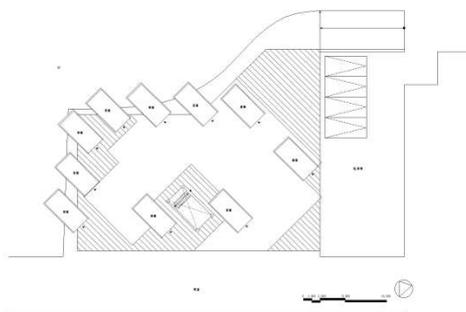
5) 車庫の設置

6) 小田家完成

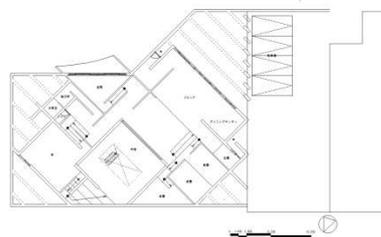
7. 小田家完成図

## 7. 新しい小田家の紹介

### ■平面計画



地上階平面図



地下階平面図

新しい小田家は、地下階が住まいの場、地上面が貸し車庫などの地域の人々に利用してもらう場とした。これにより、地域の方々との交流が増え、地域の人が集まり、老後の両親との交流が多くなると考えられ、さらに人々が集うことで、自販機の売り上げアップも期待できる。また、地下階は鉄筋コンクリート造のモダンな造りとするが、壁の半分はガラスブロックにすることで、透過性の高い、広々とした空間とした。建具は最小限にし、一体感のある場を実現した。また、床の高さを変えることにより、変化ある空間にするとともに、スロープをで、バリアフリーの住みやすい環境を実現している。

小田家は地下に潜ることで、広々としたみんなの広場を提供し、みんなの喜ぶ姿が小田家を元気にする。みんなの場所とともに進化し続ける小田家であることを願う。